

一般質問

●この一般質問の内容は、会議録(反訳文)に基づいて各議員が質問の一部をまとめ、本委員会が最終確認・編集をしたものです。
●各議員氏名横のQRコードからその議員の一般質問の動画がご覧いただけます。



やびくみつる
議員 屋比久 満

■施政方針関連を質す

問 (1) トップセールスの状況を聞く。(2) MICE・東海岸案サンライズベルト構想を聞く。(3) 西地区土地区画整理事業と国道329バイパス進捗を聞く。
町長 (1) 就任から現在まで、

問 (1) 社会福祉法の改正により「重層的支援体制整備事業」に取り組むとのことだが見解を聞く。

■福祉関連を質す

行政政健全化、子供たちの未来のためのまちづくり、住みやすい教育・福祉のまちづくり、平和の実現を目指して取り組んだ。(2) 同構想は東海岸地域の施策で重要な要素となる可能性があることから、その実現に向け、関係市町村と連携し推進していく。
土木課長 (3) 区画整理事業の状況は、令和3年末で51・8%。国道バイパスについては、現在、県が路線測量をしていて、設計が終わった後、地権者へ説明会を行い用地交渉に入ると聞く。

■公園整備を質す

福祉部長 (1) 相談、参加、地域づくりの支援を一体的に取組む。重層的支援については、令和4年度以降に社協と事業展開を協議したい。
問 美咲と兼久両自治会から、美咲公民館横の空き地に公園整備の要望がある。町の見解を聞く。
土木課長 (1) 街区公園の整備は、現在補助事業が無く考えてないが、利活用できないか土地所有者に確認したい。

■交通安全を質す

問 先月美咲地域の国道329号線で地域の老人が車に轢かれて亡くなる痛ましい事故が発生している。

交通安全の観点から、美咲から我謝の間に、信号機の無い横断歩道の新設を要望する。
総務部長 浦添警察署交通課に問い合わせたところ、国道において信号機の無い横断歩道を設置すると、事故を誘発する可能性があり不適との回答があった。なお、浦添警察署交通課は注意喚起の路面標示のドットラインを要請することである。



■地権者への説明不足が浮彫!

問 地権者説明会で、どのような質疑や要望があったか。
建設部長 「事業執行の工夫が足りない、移設補償や換地の時期、ビジョンや事業工程を示せ」などの質疑や地権者への情報提供、また説明会の定期開催などの要望があった。



まえしろ 哲
議員 まえしろ 哲

■事業の遅れは一般町民にも不利益!

問 当初事業費の裏負担と現計画の裏負担を伺う。

町長 説明をしなかった事への鬱積。今回の説明会で感じたのは、一刻も早く事業を終わらせないといけないということだ。

■事業の遅れは一般町民にも不利益!

問 当初事業費の裏負担と現計画の裏負担を伺う。

建設部長 町も早期完了させたいという気持ちは持っている。当然遅れたこと、土地利用が出来ない方々には大変申し訳なく思っている。早期完了に向けて努力していきたい。

問 地権者説明会は、これまで何回開かれたか。
都市整備主幹 初めてである。

問 事業開始し、十数年経って初めてお知らせしているという事か。
建設部長 区画整理だよりは3年前から発行。今回あまりにも情報が少ないという声があり、説明会を3

年に1回、年2回の発行をする必要があるかと考えている。

問 ぜひやってもらいたい。十数年何もやっていなかったのだから。完成したら子や孫と楽しく過ごそうなど夢を抱いていたはず。その地権者の人生設計や人生の時間を奪ってしまっている。この責任があるという事。町長はどう考えるか。

建設部長 当初が約6億円。現計画が7億9千万円である。

問 事業が遅れ裏負担が約2億円増える。一般の町民にも不利益が生じている。教育費や福祉費は、今大変な状況の中、2億円というお金が出ていく。そういう責任もあるという事。皆さんが背負っている責任は非常に重い。早期完成できるように努力してほしい。

その他の質問
MICE施設について



やましろ かつたか
議員 やましろ かつたか

■子ども達の交通安全意識向上を

問 通学路安全プログラムで示された危険箇所について、子どもたち同士でタブレット端末を活用し、交通安全について議論する等の取り組みは検討可能か。

■子どもの居場所、ネットワーク化を

問 こどもの居場所について、運営団体系や関係機関とのネットワークや拠点となる窓口が今後必要と思つが。
福祉部長 居場所間での情報共有等は必要と感じている。今後こども課や各種関係機関が情報共有できる場の構築を検討したい。

■地域住民の交通安全を

問 棚原区を走る旧県道29号線は、昨年関係者にてグリーンベル

ト、横断歩道設置について協議した。その後の進捗は。

生活環境安全課長 西原町は地域住民、中部土木事務所は通学路の安全対策をメインに考えており、認識のずれがあった。西原町の主張を受けた中部土木事務所は、区域等を示すことで次年度優先的にその部分のグリーンベルトを検討したいとのこと。

■西地区土地区画整理事業

問 造成の済んだ箇所の供用開始時期を具体的な数字で公表する必要があるのでは。

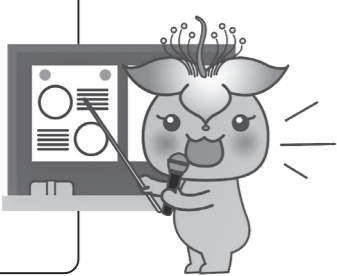
都市整備課主幹 それが一番地権者にとっていい回答だと思うが、予算の担保がない曖昧な形での約束はできない。

問 西地区土地区画整理事業の促進部会(仮称)等を立ち上げ、地権者と常時意見交換をしながら進める必要があるのでは。

建設部長 地権者との話し合いの場を設け、協力し合える体制や仕組みができれば事業の執行が早くなる。今後は地権者と情報を共有し、協力も仰ぎたい。

その他の質問

○民生委員一斉改選について
○しまくとぅば普及啓発について



一般質問

●この一般質問の内容は、会議録(反訳文)に基づいて各議員が質問の一部をまとめ、本委員会が最終確認・編集をしたものです。
●各議員氏名横のQRコードからその議員の一般質問の動画がご覧いただけます。